

時事新報定例
 時事新報一年三百六十五日一日休刊セズ其代價
 送送料廣告料へ左ノ如シ
 一 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 一 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 一 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 一 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓

時事新報廣告料前金
 一行五圓 二行十圓 三行十五圓 四行二十圓 五行二十五圓
 一行五圓 二行十圓 三行十五圓 四行二十圓 五行二十五圓
 一行五圓 二行十圓 三行十五圓 四行二十圓 五行二十五圓
 一行五圓 二行十圓 三行十五圓 四行二十圓 五行二十五圓

時事新報

工業上の便利を興ふ可し

米國銀貨を實施して世界の金銀價を變動してより日本
 の如き銀貨國の工業品は他の金貨國の物品に對して
 割合に其價を増加し輸入は易くして輸出は難きの勢を
 呈したるは表露工業に取りて一時難難の厄運と云はざ
 るを得ず勿論今日の處にて彼の米國銀貨は其實行永
 久す可きや如何、世人の疑惑する所なれども之を發案
 したるは彼の「シムプソン」を稱して銀貨を所有す
 る者の爲めに一時銀相場を騰貴せしめて奇利を得せし
 めんとするのみに非ず米國は商業國と云はんより寧ろ
 農産國と稱す可き者にて同國物産の重立ちたる者は悉
 く農産物ならざるなし而して此農産物は英國を始め歐
 洲諸國に輸出して常に販路を彼の市場に得たれども是
 れより先き數年來銀貨額りに下落したるが爲め銀貨國
 の産物は金貨國の國に輸入して其價頗る廉に印度その他
 の農産物は木綿玉蜀黍等を始め何れも歐洲市場に入り
 て米國の農産物と競争し終に之を壓倒するの勢を呈せ
 り而して此勢を呈したる起原は彼の金銀價の差違にし
 て今若し銀の下落する反對に其直段が騰貴すれば東洋
 銀貨國の産物は歐洲金貨國に入りて割合に高直の者と
 爲り米國の農産物も従來の如く販路を歐洲に保つと
 を得べし即ち銀貨案を實施して世界の銀相場を騰貴せ
 しめ米國中に勢力ある銀師の希望を満足すると同時に
 一般農業者の利益を保護して國の根本を固めざる可ら
 ざれば是れ米國經濟家が銀貨案を實行するの動機にし
 て畢竟國の根本たる農産物を保護せんとするの趣向な
 りれば假令へ多少の困難あるも俄に同案を中止して銀價
 の復舊に任ずるが如き米國人の爲すに忍びざる所あら
 ん左れば我諸工業の困難も其銀價の騰貴より起れるも
 のは俄に除去去らざるもならん此際如何にもして危
 難に處し及厄運に耐へんとするに國民全體同意して
 工業保護の方法を講じ差向き日本人たる者は其官民何
 れを問はず内國製造品を用ふるも、恰も一種の義務と
 爲り、米國海軍を始め其他諸官省に於て、綿紗、綿布、
 皮革、紙類等と需要する時は假令其直段に於て些少
 の相違を見るとも先づ内國人に注文して成る可く
 外來品を用ふる内に製造會社なく又之を製造するも萬
 々不都合の物品は海外の供給を仰ぐ可きも其他は
 悉く内國品に依りて内の工業を助るの旨を忘る可らず
 又農業者は物の價を比較して取捨買賣す可きものと
 當然にして之内國品を用ふ可しと強て勸告す可き
 事也、今工業の危急を見て之を救はんとするの
 心、此は實業を興ふに必要にして衣服食品等を
 注文するにも差したる利害便不便を覺えずして日本品

雑報

を用ひ可き場合甚だ少からず唯平生の心掛けに存す
 可きのみ又其救濟の方策中殊に有力なる可きものは我
 銀行社會にて全國諸工業會社に對する身代取調法を嚴
 密にし後來に及ぶる會社には充分の債利を興ふるも
 是れ亦り從來我日本國には身代取調の方法なく商人相
 互に猜疑を抱きて取引上の不便少からず例へば日本
 銀行にて今日一個人の取引を開かず擔保品などを以
 て金を同行より引出すものも單に會社に限り置くが如
 き抑も如何なる理由ありや一會社にても一個人にても
 身元確實ならんには幾んど之れを取引して銀行たるの
 本分を盡くす可き等なるに然るに實際然らざるは日本
 銀行の筋に於て一個人の身元を究むるよとを爲さず隨
 て之を信せざるが故なる可し誠に不完全の至りあれど
 も今の日本商人に向て俄に完全を望む可き非ず寧ろ向
 き一個人の身代を知るも能はざれば暫く之を他日に
 譲り會社の身元取調を以て先づ今日の端緒と爲し殊に
 諸工業會社に就ては充分調査を密にして此會社は何程
 の財産あり其會社は若干の負債あり現時の有様は斯く
 くにして前途の見込は云々ならん夫れ「取調」を
 終りたる上にて實地込みの多きものには其株券を擔保
 品と爲すに其他の金融を助るにも萬端便利を興ふ可
 きと固より言を待たざれども實地何の見込もなく失
 敗萬々疑なくして之を救ふも益なきものは初めより其
 運命に任ずるの外なし若し然らずして婦人の仁を行
 ひ玉石を混濁して共に救はんとするが如きは却て共に
 碎けしむるの媒介たる可ければ金融の局に當る者は諒
 り此邊の事情を察し工業諸會社を鑑別して取引上にも
 心を致し實地營業に利益の見込あるものは之に相應の
 支柱を興へて今日の厄運を過さし目下工業凋落の候
 に乾坤發育の心を寓して陽春新芽の萌起するを待つは
 甚だ肝要の事なる可し

○英國通信(前號の續) 在英國法學院 植村生
 カレドニヤン掘削は西南より斜に東北に向ひ三個の湖
 水を連繋して作り北海又は日耳曼海と稱する蘇國の東
 岸より直に西岸の大西洋に至るものなり全長六十英里
 半にして水深十七英尺を定度とす之れを落成するに
 四十四年の星霜を費し其意匠は近世英國の大技師アル
 フォード氏に出でたり余は久しく其名を聞きたれば實
 に經濟上に非常の効用あるものなるべしと想像して其
 西端に達し別に汽船ありて航行するに殆んど他に船舶
 を見ず其船常に中流を獨占して放て之を避けしむるも
 のなし後船客に聞きて今日其實用は主として夏時遊覽
 船を通ずるに過ぎざるを知れり思ふに之れを起した
 るは千八百三年ありと云へば當時の想像にては充分に
 大船を往來せしめて蘇國の海岸を連繋し以て北海の暴
 波を避けしむる大經濟策なりしならん然れども如何に
 ん遊覽船の二衝は其進歩意外にして優々時間を費じ
 て之を通過するの通商船舶に至れり時に小形の船
 舶入り來て沿岸に貨物を供給し又之れより輸入するも
 のある由なれども固より全體の經濟上より見れば數ふ
 るに足らずと云はざる可らず若しアルフォード氏地下
 に在て之れを開かば倍倍して其不用を憚むべし然れど
 も遊覽者より評すれば通商の爲めに使用せざるを以て
 近隣諸國開闢涼にして天然の美景を損せず之を遊覽す
 るに門路あるを以て其快樂は汽車若くは馬車を以て通
 行するの比にあらず而して獨創若くは細長き湖水なれ
 ば絶へて危險なし故に余は以爲く斯の如き掘削の汽船
 にて山河を遊覽するは其快樂及び便利安全の點に於て
 最上乘なりと信す要するにカレドニヤン掘削通過は蘇
 國遊覽中の一大快樂なりとす掘削の東端にインバーチ
 ストと稱する古市あり其中央を貫きてマスコ河あり其流
 は清く且清くして汚物の之を漬すものなし故に京都の
 鴨川に似て水更に多し此類の河流を英國の都府近傍
 に見るは實に稀れありとす此地の土人はインバーチ
 ストに優れる美地ありと稱するは必ずしも誇言にあらざ
 るべし余此地に在りて特に心に浮ひし一事は日の長さ
 事なり倫敦に在りても夏時燈を要するの晚きは常に日
 本人の氣附く所なれどもインバーチストに在ては倫敦に
 於るよりも更に晚し雨天の夜九時に近くして尙は新聞
 を讀むに燈火を必ずしも要せざりし(八月十二日)され
 ども地圖を播きて此地を觀るに大凡北緯五十七度半
 り之れを日本に比して云はば僅かに五十度線を超へた
 る千嶋群島北端を北方に去るものと尙は七度の處あり
 と知るべし故に日中の長さ所以も亦了解し得べし
 インバーチストより蘇國の東岸に沿ひ南下し先づアバ
 ン府に泊り此地は學術も盛にして蘇國四大學の一
 は此地に在り又通商航海の一要地なり就中玆に産する
 花剛石は全國無比と稱し遠方に輸出する石材は實に巨
 額なりと察す而して最も旅人を驚かすものは全市殆ん
 ど花剛石造の家屋のみにして煉灰又は他石を以て建て
 たる家を見るは實に難し下等の貧民も尙は花剛石の家
 に在り故に全市の外觀は一掃特異なりとす中央にア
 バン州及び市の公府あり全く琢磨せる花剛石を以
 て作り其彫刻等の緻密なる所は大運石の裝飾に劣らざ
 るが如し更に南に進んでマンチー府あり一大製造地に
 して黒煙天日を送ざる麻布の産出を以て聞ゆア河口
 に架する一橋あり其の長さ二英里に近しと雖ども別に
 行人の眼を驚かすものなし唯去る千八百七十九年十二
 月二十八日の夜暴風雨の際に汽車橋上を過ぐるに當り橋
 梁折れて全汽車海に沈み一人も其命を助け得たるも
 のなかりし一事は今日尙は世人の忘るるを得ざる難
 にして現在の新橋を築りて此事を思ひ出さざる者は蓋
 少かるべしチー橋を過ぎ左に折れて鐵道支線を取り
 シントアンリニューに下車す此地は海邊の小都會あり
 ども古來蘇國耶教の首府にして又大學あり神學の
 學生多し且蘇國の宗教改革を主張して終に之を確立せ
 しジョンノクスが布教の實地なり當時其説を聞き
 る衆は數萬を擧げて自ら制せず終に其大寺觀を破壊せ
 り其舊址に残れる石壁は數百年の雨露を凌ぎて屹立せり
 亦以て人心の震撼したる跡を思はしむるなり再び鐵道
 轉輪は歸りフォース橋を渡りマンチー府に歸る之れ
 を以て遊歴の終點とす

○國庫金補助の事
 國庫金補助の事、一方ならぬに、
 國庫金補助の事、一方ならぬに、
 國庫金補助の事、一方ならぬに、
 國庫金補助の事、一方ならぬに、